

第30回

ICTワークショップ シヨツプ。

「最新の無線技術」

長距離低消費電力無線LPWAの概要、
ローカル5Gプラットフォーム開発、
LPWANの伝送データ量を増やす方法

2022 **7/21** (木) 16:00~18:00

100周年記念ホールにおける対面と
ZOOMビデオウェビナーを用いた
オンライン形式の併用

要申込

詳しくはこちら



国立大学法人

電気通信大学

The University of Electro-Communications

主催：電気通信大学 産学官連携センター

後援：首都圏産業活性化協会

企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

プログラム

(1) 「センサー用無線方式LPWAとその応用実験」

中嶋 信生 客員教授

(先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター、
産学連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門)

IoTの中で重要な役割を担う各種センサーからの情報を無線で収集するのがLPWA(Low Power Wide Area)で、長距離通信ができ低消費電力動作が特徴です。講演ではSigfox, ELTRES, Wi-SUNなどの無線方式について紹介すると共に、YRP(横須賀リサーチパーク)で行った長距離通信実験について述べます。

(2) 「コンパクト型ローカル5Gプラットフォームの開発」

旦尾 紀人 代表取締役社長

(ハイテクインター株式会社)

廉価で信頼性が高い自営無線通信網のソリューションを顧客に提供するため、コンパクト型ローカル5Gプラットフォームを開発しております。4K低遅延の映像システムやAIエンジンと統合することで、デジタルトランスフォーメーションを実現し新しい革新的なアプリケーションを提供することが可能となります。

(3) 「IoT時代のためのLPWAN高度化に関する検討」

安達 宏一 准教授

(情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻、
先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター)

環境モニタリングなどの必要性の高まりに伴い、低消費電力ながら長距離・多接続通信が可能な省電力広域ネットワーク(LPWAN)への注目が高まっています。しかしながら、LPWANで伝送可能なデータ量を増やすことが難しいのが現状です。本講演では、通信プロトコルなどを変更することなく、LPWANにおいて伝送可能なデータ量を増大させる手法について紹介します。

(4) 「運営支援部門からのお知らせ」

(UECアライアンスセンター運営支援部門)

(5) 懇談 (17:40~18:00 対面で参加された方が対象です)